

(7)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



# 地元中学生に基礎教える

## プログラミング コンテスト前に田辺工業高

県内の16歳以下の子どもを対象にした「U-16プログラミングコンテスト和歌山大会」を前に、大会を主催する田辺工業高校(田辺市あけぼの)が事前講習会を開いた。地元の中学生らに、教員や高校生がプログラミングの基礎を教えた。

プログラミングを用い、碁盤の目を舞台に対戦するゲームで競う大会。NPOのIITジュニア育成交流協会(東京都)が全国で普及に努めており、和歌山大会は12月7日に同校である。

この日は東陽、上富田、白浜の各中学校から1〜3年生計26人が参加。プログラムの基礎的な作成方法について、田辺工業高校電気電子科の竹居栄治教諭(54)が説明。同校の生徒3人も指導に当たった。

「1マス動く」「ブロックを置く」といった行動命令が16種類あることなどを解説。中学生はパソコン上で命令を出す練習などをし、コンテストに出場するための基礎を学んだ。

上富田中2年の寺内杏瑠々さんは「どのようになんか出すのが難しいけれど、やるうちに楽しくなってきた。高校生の教え方も分かりやす



い」と話した。中学生にアドバイスした田辺工業高電気電子科1年の長矢拓将君は「プログラミングは自分のやりた

いことを自由にできる楽しさがある。中学生にもその世界に触れ、楽しんでもらえたら」と話した。

プログラミングの基礎知識について中学生に教える田辺工業高校の生徒ら(田辺市あけぼので)